

令和4年度 利府町標準学力調査の結果分析と改善案（6学年）

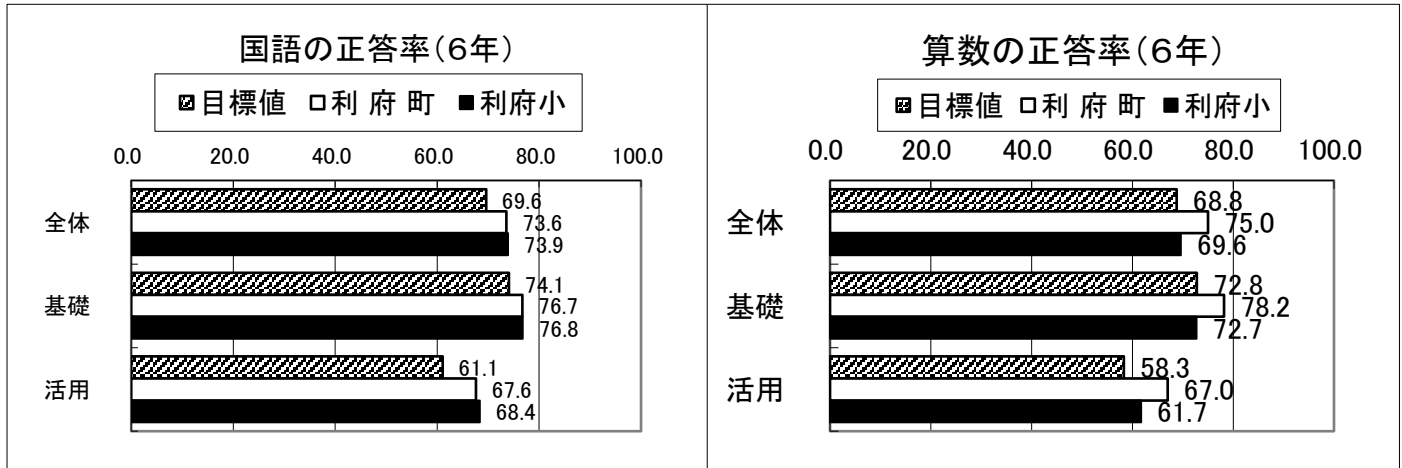
春寒の候、保護者の皆様方にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただいていることに、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年12月に行われた利府町標準学力調査の結果についてお知らせいたします。また、児童には一人一人に検査の結果と学習のポイントが書かれた個人カードを配付いたしました。

つきましては、ご家庭でも学習への取組方等についてお子さんと話し合い、励ましの言葉を掛けていただければと思います。

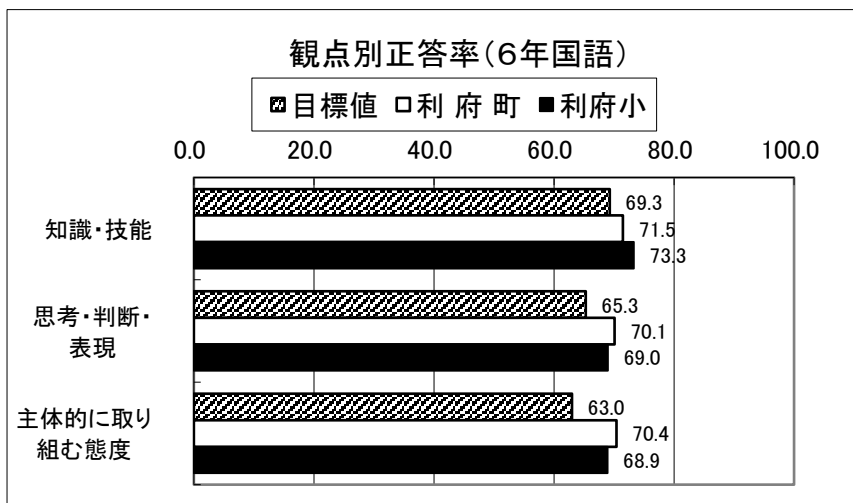
6学年全体の結果から

目標値とは、データに基づいてこの数値まで到達してほしいラインを表したものです。実際の正答率とは異なりますが、およそ全国平均の数値と近いもので、結果を比較する目安となる数値です。

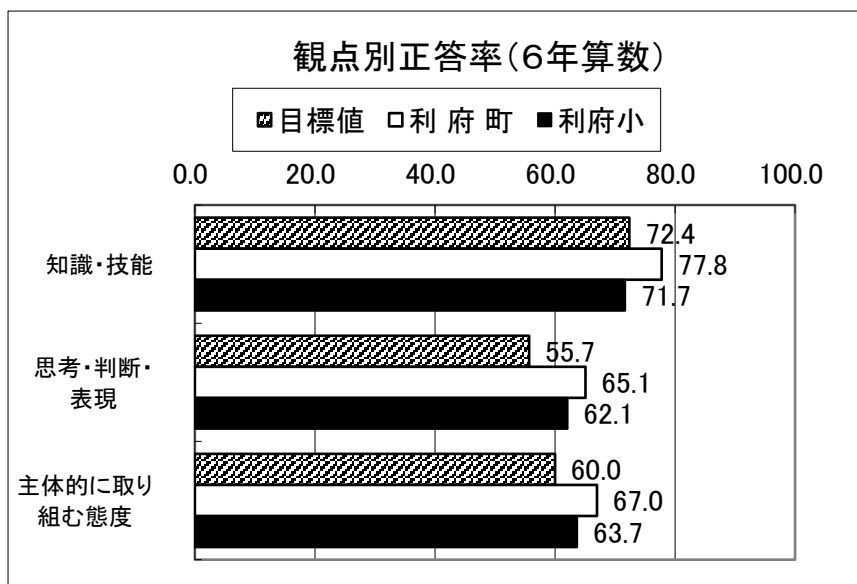


- ・ 国語については、全体で4.3ポイント目標値を上回っています。基礎では2.7ポイント目、活用では、7.3ポイント目標値を上回っていました。学習内容が確実に身に付いていることが分かりました。
- ・ 算数については、全体で0.8ポイント目標値を上回っています。基礎では0.1ポイント目標値を下回っていますが、活用では3.4ポイント上回っていることから、学習内容が十分に身に付いていることが分かりました。

【国語】 ◎よくできていた点 ●課題と改善案



- ◎ 話し合いの内容を聞き取る問題において、意図に応じて話を捉える問題の正答率が高くなりました。
- ◎ 報告文を書く問題において、目的や意図に応じて書き表し方を工夫する問題の正答率が高くなりました。
- 説明文の内容を読み取る問題において、段落相互の関係を捉え、重要な言葉を書き抜く問題の正答率が低くなっていました。学習の中で、段落ごとの要点を考えさせたり、段落構成を捉えさせたりするような活動を行っていきます。
- 第6学年に担当されている漢字を読む問題はできていましたが、漢字を書く問題に課題が見られました。引き続き反復練習を重ねていきます。



- ◎ X や Y などの文字を使って、2つの数量の関係を表す問題の正答率が高くなりました。
- ◎ 「拡大図と縮図」や「対称なかたち」など、図形分野の基礎的問題の正答率が高くなりました。
- 等しい比を求めたり、比の値を求めたりする問題の正答率が低くなりました。解き方を再度授業で確認するなど、補充的な学習を行っていききたいと思います。
- 分数のかけ算やわり算の問題の正答率が低くなりました。宿題やタブレットのドリルなどで復習することで、解き方を定着させていききたいと思います。

個人票『あなたの結果』の見方

① 教科正答率 (%)

全て正解の場合は100%になります。「あなた」の欄のお子さんの数値と目標(到達してほしい数値)を比較しておおよその目安としてください。

右側の児童のみなさんへの文章をお子さんと一緒に読んでみてください。

② 内容別の正答率

国語と算数それぞれの問題の内容別にお子さんの正答率を表しています。評価は目標値との比較により、3段階で表されています。特に▲は、内容が十分に身に付いていないことを表します。

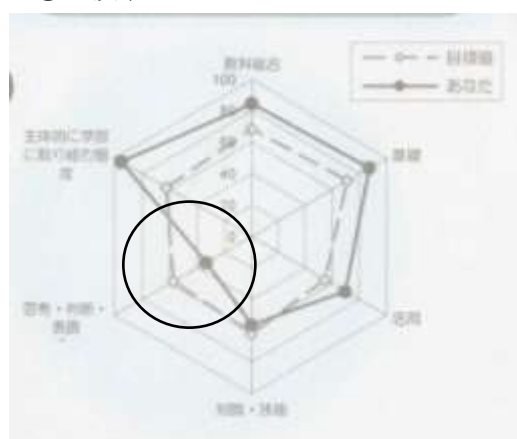
表の下にはお子さんへのアドバイスが記述されています。自主学習に取り組む際の参考にしてください。

(例) 小学校6年 算数

問題の内容	正答率 (%)		評価
	あなた	目標値	
文字と式	80.0	82.5	○
拡大図と縮図	87.5	77.9	◎
対称な形	65.4	81.4	▲
▲の評価である「対称な形」の学習が十分に身に付いていないことが分かります。			
総合	78.5	79.5	○

※詳しくは、個人票の裏面をご覧ください。

③ 領域別のグラフ



『目標値』より内側の値(○の中の部分)は目標に届かなかったことを表します。